

平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック									
建築士会名 (支部等含む)	(一社)北海道建築士会 函館支部			事業名	木で遊ぼう!マイはし作り体験					
●活動の種別	<input type="checkbox"/> 建築物調査・保存・再生 <input type="checkbox"/> 景觀形成・街並み保存・修景 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他( )									
●企画運営団体	<input checked="" type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input type="checkbox"/> その他( )									
●活動の背景	近年、マイ箸を持ち歩く人が増えている。これは木という資源を大切にエコの観点からも良い活動と考える。建築士会としてもこの活動を広めるために一役買えないか?そう考えた。									
●活動目的	建築士として、デザインする楽しさ、ものづくりの楽しさを子供たちに伝えることで将来の建築士を増やす活動にしたい。また、イベントで建築士会を周知することで、ブランドカアップを目指す。									
●活動内容と成果	日時 : 平成27年3月21日(土) 10:00~17:00 平成27年3月22日(日) 13:00~17:00 会場 : 蔦谷書店 内容 : ①木材をかんなを使って箸の形に削る ②紙やすりで表面をきれいに仕上げる ③塗料で自由に模様を描き入れる。 最後に透明な塗料を塗って完成。 成果 初日スタート時より30人ほどの行列が出来、予定の70人には開始2時間ほどで到達。はし作りが1時間ほどかかるので、ほとんどの方は予約という形で対応。翌日も開始1時間で予定の40人に到達。大人気のままイベント終了。アンケートの回答でも全員が満足と回答。建築士会のPR・ものづくりの楽しさを伝えるいいイベントになったと思う。									
●集客方法	新聞記事、蔦谷書店ホームページ その他									
●活動収支	収入	約20万円(東西アスファルト事業協同組合より20万円)						支出	約20万円	
●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		15						30	80	110
連携・協力組織	東西アスファルト事業協同組合									
										
写真① チラシ					写真② イベント状況					
●今後の課題	予想以上に人気が高く、待ち時間が5時間になるなど大変でした。今後は会場のキャパやスタッフの配置などより効率的に行えるよう考えたい。									
●今後の計画	継続事業として行う予定(次回平成28年4月9日予定)									
問い合わせ先	工藤建設				担当者	工藤 誠				
連絡先	TEL 0138-53-0331	FAX 0138-53-0331	e-mail		kudo-kensetsu@kvj.biglobe.ne.jp					
ホームページアドレス					http://www.h-ab.com/hakodate/					

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む)	(一社)北海道建築士会 室蘭支部	事業名	親子ふれ愛工作室
------------------	------------------	-----	----------

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

● 活動の背景  
 近年の建設業界では全体的に建築士の人員不足が問題となっています。小学生を対象に物作りの楽しさを親子で体験して頂き、子供達が建築の事に興味を持ってもらうきっかけになれば！と思い活動を始めました。

● 活動目的  
 建設業界では、若手建築士の人員不足が問題となっており、木工工作を通じて物づくりの楽しさを体験してもらい、少しでも建築に興味を持って貰う事によって、将来の建築士の卵及び次世代の建築士誕生のきっかけになるように工夫をしたいと思います。

● 活動内容と成果  
  
 小学生を対象に児童と父母と建築士会がグループとなって、ツーバイ材を使用して木製ベンチやプランター等を製作します。基本的には親子による作業とし、建築士会はサポート役となります。作品は、各自家庭に持ち帰って頂き大変喜ばれております。近年は参加人数がとても少なかったため、次回開催時は児童数を増やせるように工夫をしたいと思います。

● 集客方法  
 各市内の小学校と教育委員会に事業のお願い等連絡及び調整を行い、参加希望者を募集して集計を取り事業を行います。

● 活動収支

収入	100,000円				支出				
----	----------	--	--	--	----	--	--	--	--

● 来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		12		12		12		6	6	24

連携・協力組織 市内の小学校・教育委員会



写真①



写真②

● 今後の課題  
 事業をはじめてから10年が経ち、管内の小学校は一回りしました。今後は、登別市・伊達市の小学校においても実施して行きたいと思っております。

● 今後の計画  
 平成28年度も継続で実施予定です。参加者をより多く募集する為に、学校側及びPTA等の機関と実施時期や内容等の密な調整を行い、目的に合う活動をしていきたい。

問い合わせ先	北海道建築士会 室蘭支部青年委員会	担当者	旗澤 準一
連絡先	TEL 0143-45-1180	FAX 0143-45-1180	e-mail <a href="mailto:banzawa@kamio-kk.co.jp">banzawa@kamio-kk.co.jp</a>
ホームページアドレス			

# 地域実践活動事例報告シート

平成27年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック  
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会 日高支部 事業名 ちびっ子建築士の絵画コンクール

●活動の種別 建築物調査・保存・再生 景観形成・街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり  
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大  
建築士(会)の周知 次世代育成 その他( )

●企画運営団体 上記建築士会名 その他( )

●活動の背景  
 地域における建築士の担い手不足が課題となっている。

●活動目的  
 こどもの将来の職業の選択肢の一つに「建築士」を加えてもらうことを目的とする。

●活動内容と成果  
 日高管内7町の28小学校を訪問し、「ぼくの家・わたしの家」をテーマとした絵画コンクールを開催する旨説明したうえで、対象となる小学校4年生(541名)全員分の応募用紙を配布。夏休みが明けける8/21(金)を締切として応募作品を回収。82点の応募を受け、支部青年委員による厳正な審査を行い、支部長賞1点、金賞3点、銀賞5点、銅賞10点を選定。新ひだか町地域交流センターピュアプラザにて、8/25(火)～9/14(月)まで応募作品を展示し、9/12(土)に同施設で、表彰式を開催。受賞者19名中15名出席。親族・関係者を含め、40名程度の規模で表彰式を実施。

●集客方法  
 対象者全員に応募用紙を配布。

●活動収支 収入 支出 100,000円

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		5	0	5		0	5	15	20	40

連携・協力組織 なし

**原田さんらに賞状贈る**  
 道建築士会 日高支部 ちびっ子絵画コンクールで



「ぼくの家・わたしの家」をテーマとした絵画コンクールを開催した。機立取り小(入賞者)に賞状を贈った。

**で告示中**  
 情報告知ネット

14年度は道地区の整備完了。15年度は道分市街地で中継設備力所。基地部分所を施工する予定となつてい。町全約400世帯には連播された蔵が関わった設計内容に不十分な点が含まれていない。近々方ハでできる通しとなっている。

士井支部長が賞状を授け、14年度は道地区の整備完了。15年度は道分市街地で中継設備力所。基地部分所を施工する予定となつてい。町全約400世帯には連播された蔵が関わった設計内容に不十分な点が含まれていない。近々方ハでできる通しとなっている。



写真① 北海道建設新聞 (H27.9.15) 掲載記事

写真② 表彰式での記念写真

●今後の課題  
 応募者数の減少

●今後の計画  
 平成28年度も継続実施。(①7月上旬～各町に応募用紙配布 ②8月末～作品回収 ③9月上旬～作品展示 ④9月中旬～表彰式)

問い合わせ先 日高支部青年委員会 担当者 森 勝利  
 連絡先 TEL 0146-43-2111内線236 FAX 0146-43-3900 e-mail keiyaku@shinhidaka.hokkai.jp  
 ホームページアドレス